

第3次府中市生涯学習推進計画 (案)

平成30年7月

目 次

はじめに

第 1 章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景と目的
2. 計画の位置づけ
3. 計画の期間
4. 計画策定の体制

第 2 章 府中市の生涯学習を取り巻く現状と課題

1. 府中市の現状
2. 府中市の生涯学習の実態と課題（市民アンケート調査、ヒアリング調査より）

第 3 章 計画の方向性

1. 基本理念・基本目標
2. 施策体系

第 4 章 具体的な施策の展開

- 基本施策 1 誰もが学べる環境づくり
 - 重点施策 対象者に合わせた事業の実施
 - 施策 1 対象者ごとの学習環境づくり
 - 施策 2 気軽に参加できる学習環境づくり
- 基本施策 2 誰もが活躍できる環境づくり
 - 重点施策 「学び返し」育成・普及事業の実施
 - 施策 1 「学び返し」を实践する人材の育成や登用
 - 施策 2 市民が活躍する場の拡大
- 基本施策 3 生涯学習を支える基盤の整備
 - 重点施策 紙とデジタル双方での広報の強化
 - 施策 1 施設と事業との連携
 - 施策 2 生涯学習の推進機能の充実
 - 施策 3 安心・安全に利用できる施設の環境づくり

第 5 章 計画の実現に向けて

1. 計画の推進体制
2. 計画の進行管理

資料編

第3章 計画の方向性

1. 基本理念と基本目標

(1) 基本理念

府中市の生涯学習に関する施策の推進に当たっては、第6次府中市総合計画の文化・学習分野で基本目標に掲げている「人とコミュニティをはぐくむ文化のまち」を基本理念とします。

(基本理念)

人とコミュニティをはぐくむ文化のまち

(第6次府中市総合計画(平成26年度～平成33年度))より

市民と市がともに目指す都市像

みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち

～みどり・文化・にぎわいのある洗練された都市を目指して～

【基本目標(文化・学習)】

人とコミュニティをはぐくむ文化のまち

第6次府中市総合計画では、平成26年10月20日、府中市制60周年記念式典で宣言された「市民協働都市宣言」と軌を一にし、市民との協働を重視、「みんなで創る」という文言を「市民と市がともに目指す」都市像として組み込んでいます。また、「人とコミュニティをはぐくむ文化のまち」についても、府中市の現状と課題において、活発な市民の生涯学習活動の維持に加え、「市民との協働によるまちづくりを念頭に置いて、ボランティア、NPO、自治会等のコミュニティ活動の活性化に向けた取組を進めること」と記述されており、市民協働の推進が、文化・学習分野においても、重要な課題として位置づけられています。

上記の上位計画での規定を踏まえ、今回の生涯学習推進計画においても、生涯学習活動の振興に当たって、市民協働との連携を強く意識していくものとしていきます。

(2) 基本目標

第6次府中市総合計画では、生涯学習分野における重点プロジェクトとして、「様々な分野で市民の手によってまちが育つことを目指し、地域での多様な生涯学習の場とそれを還元する『学び返し』の機会を充実させるとともに、地域で活躍できる環境づくりを進めます」と規定されています。本計画では、これを踏まえ、平成17年に府中市生涯学習審議会が提言した府中市独自の生涯学習についての考え方である『学び返し』の普及と拡大を基盤とした下記の目標と基本目標として設定し、それに基づく基本施策を実施します。

(基本目標(仮))

みんなで学び みんなに返す
ひとと地域がともに育つ 「学び返し」のまち 府中

(基本施策)

- 基本施策1 誰もが学べる環境づくり
- 基本施策2 誰もが活躍できる環境づくり
- 基本施策3 生涯学習を支える基盤の整備

基本目標の、「みんなで学び」は、住民から新たな住民や高齢者、若い人、働いている人、子育て中の人など市民みんなが学べる環境を整備することを目指しています。

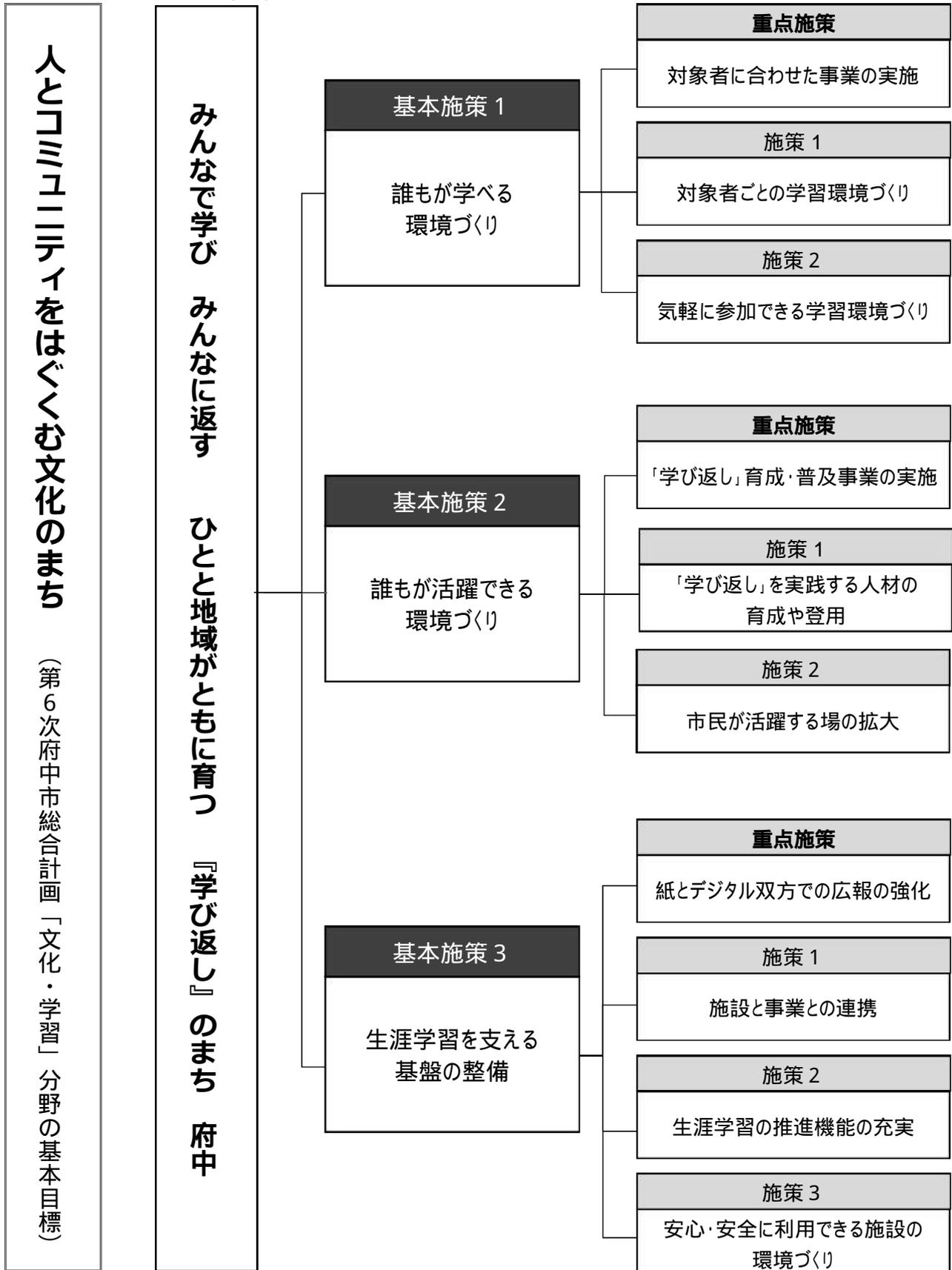
次の「みんなに返す」は、学習した内容を地域に活かす『学び返し』の考えを普及させるとともに、そのための人材育成、さらには返すための活躍の場を拡大することで、生涯学習を基盤とした全市の市民協働を進めていく考えを示しています。

続く「ひとと地域がともに育つ」は、人生100年時代を踏まえた個人としての成長と、歴史文化や緑等を始めとした府中ならではの地域の振興を、学び返しの地域教育力で、実現するという全体の進むべき方向性を提示しています。

上記の基本的な考え方に基づき、今回の生涯学習計画では、学び返しによる地域の教育力とそれを基盤とした市民協働力の向上の実現を図ることを目指していきます。

2. 施策体系

< 基本理念 > < 基本目標（仮） >



第4章 具体的な施策の展開

基本施策 1

誰もが学べる環境づくり

(1) 現状と課題

市民の生涯学習活動は、全体としては活発で、生涯学習の参加者が基準年の2011年に比して3倍以上にまで拡大しています。

一方、参加者の属性をみると、高齢の方や家事専業の方など時間を取りやすい層や、以前から市内に住み、市の生涯学習事業をよく知っている方では参加率が高い一方、若年層や就労者層、新しく住民になった方の参加が少ない傾向がみられます。この背景としては、若年層や就労者層に向けた事業が少ない、新しい住民など、これまで生涯学習に参加していない層がなかなか参加のきっかけが掴みにくいなどがあると考えられます。このうち、若年層や就労者層への対応としては、生涯学習センターやルミエール府中、市民活動センター「プラッツ」などで、指定管理者制度を導入することにより、夜10時まで開館するなどの夜間対応をしておりますが、今後は、さらに情報提供や講座内容の面なども含め、対策を検討していく必要があります。生涯学習に参加できていない層の取り込みについても、広報の充実に加え、初めての人が参加しやすい事業を検討するなど、内容にまで踏み込んだ対応が必要です。

この他、生涯学習関連施設については、高齢者などの健康面に不安がある人から、利用しやすさを高めて欲しいという意見も出ています。また育児中の方から、乳幼児連れでは参加しにくいという指摘もなされています。加えて大きいのは、市の生涯学習事業についての情報が取りにくいという意見です。市民全てに届く広報の整備を、個別の事業に合わせ、実施していく必要があります。

基準年とは、第6次府中市総合計画前期基本計画策定の年を指します。

(2) めざす姿

若年層、就労者層、新しい住民などを含む全ての市民が、興味・関心に合わせた多様な生涯学習活動に熱心に取り組んでいる

健康面に不安がある方、乳幼児連れの方であっても生涯学習活動に参加しやすい環境が整っている

(3) 施策目標

「誰もが学べる環境づくり」を進めることにより、現在は市民の参加率を、ライフステージや居住年数などの状況に関わらず高めていくことにより、市の生涯学習講座への参加者数を年間76,000人まで増やしていくことを目標とします。

指標名 (単位)	指標の説明	基準値	現状値	2026年度 目標値
生涯学習講座 への参加者数 (人)	生涯学習講座の年間の延べ 参加者数です。増加を目指し ます。	21,307人 (2011年度)	70,187人 (2017年度)	76,000人

基準値は、生涯学習センターが市直営時の人数

(4) 施策の方向性

重点施策 対象者に合わせた事業の実施

現在、生涯学習活動への参加が少ない層の需要を掘り起こすため、対象者ごとに、興味・関心の方向性や、どのような形であれば参加しやすいかを把握し、対象者に合わせた生涯学習事業を企画します。

企画にあたっては、生涯学習センター事業としての展開の他、他分野との連携を検討するとともに、多様な市民の意見を講座企画に活かす方法を考えていきます。

事業の取組

取組1 生涯学習自体の普及促進を目指した事業

- 市民の多様なニーズに合わせた生涯学習講座

取組2 市民のライフステージに合わせた事業

- 高齢者と子育て世帯に焦点を合わせた事業
- 就労者・社会人の能力拡大に繋がる夜間帯の事業

取組3 生涯学習活動に参加できていない方、新たな住民向けの事業

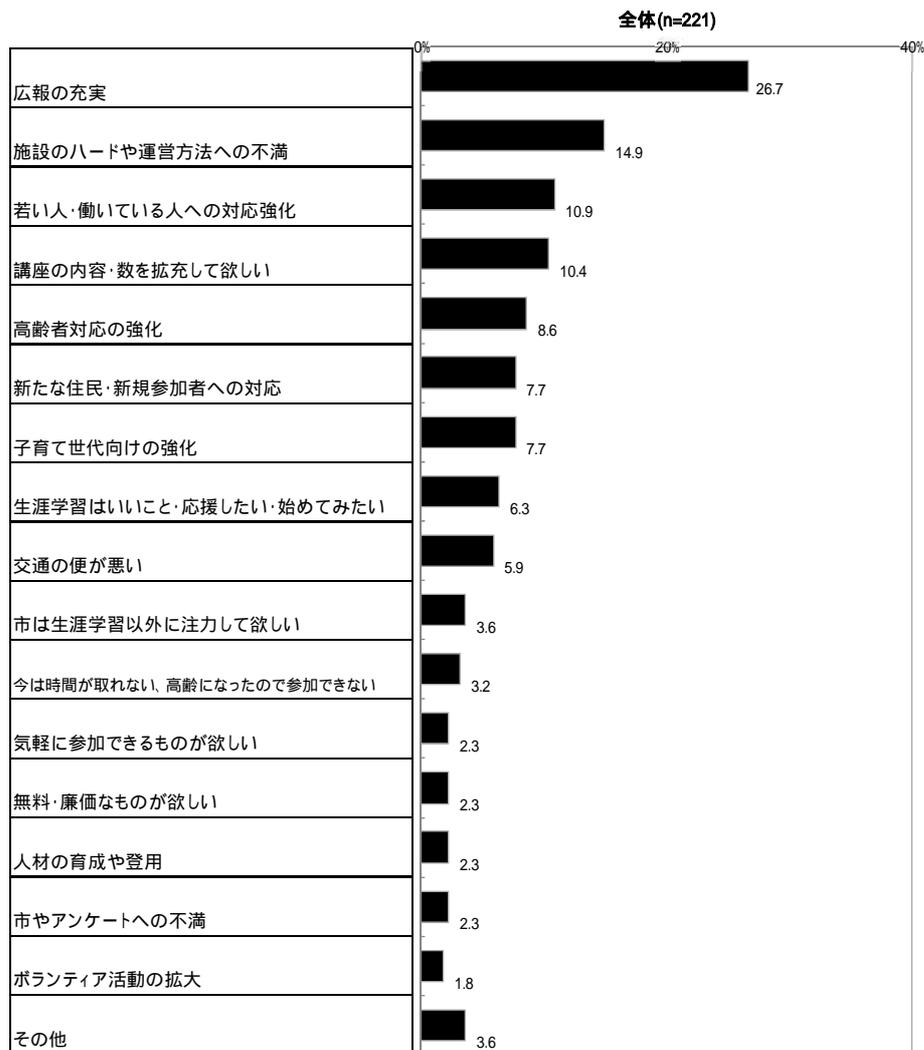
- 気軽に参加できる講座（無料で体験できる講座 等）

施策1 対象者ごとの学習環境づくり

市の生涯学習事業については、全体としては非常に活発な参加がある一方、先に述べたように、若い人や働いている人の参加が少ない傾向がみられます。また、アンケート調査でも、市民から、「若い人・働いている人への対応強化」「高齢者対応の強化」「子育て世代向けの対応強化」など、それぞれのライフステージに合わせて、参加しやすい、参加したくなる生涯学習施策を行って欲しいという声が様々に上がると同時に、生涯学習に現在参加していない人の18.8%が「講座の内容、実施時期、時間があわない」と回答しています。

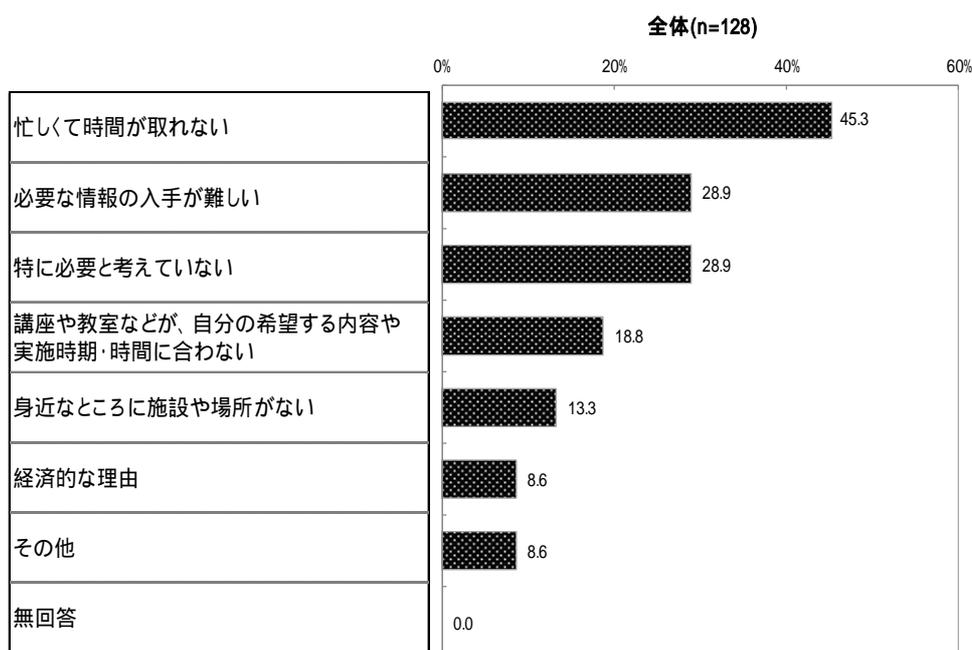
これを踏まえ、就労者、高齢者、子育て世帯などそれぞれのライフステージに合わせた参加しやすい環境づくりや、興味を持つ内容・テーマでの生涯学習の講座提供を行っていきます。また、これを効果的に実施するため、市民団体などとの連携や協働も広げ、市民の力、民間活力の活用を進めていきます。

市の「生涯学習」の施策や市民の活動を推進していく上でご意見



平成 29 年度「府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査」より

「生涯学習」をしていない理由



平成 29 年度「府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査」より

主要な事業

事業名	事業内容	担当
生涯学習センター講座	市民の学習ニーズに応じて、さまざまな講座を企画し、さらに民間教育機関と連携を図り、「学び返し」の視点を入れながら、生涯学習の推進を図る。	文化生涯学習課
全市的家庭教育学級	主に幼児をもつ保護者を対象に、託児を付けた講座を実施する。	文化生涯学習課
知的障害者学級(あすなろ学級)	18 歳以上の知的障害者を対象に原則毎月日曜日 2 回開催し、障害者の学習、スポーツの機会を確保する。また、この事業に参加するボランティアの育成、活用を図る。	文化生涯学習課
公民館講座	市内 11 か所の文化センター内にある地区公民館で教養講座、趣味実用講座、料理講座、家庭教育学級を実施するほか、親子のふれあいを求めて、映画会を開催する。また、全市的には、憲法講演会、家庭教育学級を実施する。	文化生涯学習課
憲法講演会	平和・人権に関する講演会を開催し、広く日本国憲法の持つ意義の理解普及に努めるため講演会を実施する。	文化生涯学習課
けやき寿学園	60 歳以上を対象に、政治、経済、文化、芸術など、市民のニーズをとらえ、プログラムを作成し実施する。	文化生涯学習課
ふちゅうカレッジ出前講座	市民のリクエストに応じて市職員が講師となり、市政の様々なテーマについて講義する。	文化生涯学習課
ふちゅうカレッジ 100 単位	対象となる学習講座を受講し、100 単位を修得された方に生涯学習士の称号と修了証を渡す。	文化生涯学習課

事業名	事業内容	担当
青少年音楽祭	青少年音楽団体に発表の機会を提供し、併せて交流、技術の向上を目指し、合唱、合奏の総合的な発表会を開催する。	文化生涯学習課
市民芸術文化祭	市民が日頃から自主的に展開している芸術文化活動の成果を集大成して発表し、これにより交流を深め、また技術向上に努める。市民の自由な活動、発表の場として展開するよう推進する。	文化生涯学習課
老人クラブ	社会奉仕、教養講座、健康増進活動などを行っている老人クラブを支援することにより、高齢者の生きがいづくりを促進し、健康増進や地域の交流を図る。	高齢者支援課
図書館の充実	P F I事業を導入した中央図書館を中心に、12の地区図書館とのネットワークの強化を図り、全市域における図書館サービスの充実を図る。	図書館
コミュニティ文化祭	各文化センターの自主グループが一堂に会し、日頃の活動の成果を展示・発表を行う。他の同種事業との統合を検討する。	地域コミュニティ課 片町文化センター
お話し会	子どもたちに本を読むことの楽しさと、図書館に親しみをもってもらうよう、幼児、小学生を対象に中央図書館、地区図書館で実施する。	図書館
高齢者向けの体操教室	高齢者を対象とした気軽に楽しめるスポーツやレクリエーションを取り入れた講座を実施する。	スポーツ振興課
介護予防講座	おおむね 65 歳以上の方を対象に、介護予防に効果のある幅広い内容の講座を開催し健康増進を図る。	高齢者支援課
いきいき女性セミナー	女性を対象に、固定的な性別役割にとらわれない家族やまわりの人との関係、心身の健康、仕事や地域での活動を通しての自立などをテーマに、知識を得たり話し合うことでの学びの場を提供する。	地域コミュニティ課
母親学級・両親学級	妊娠、出産及び子育てに関する知識を提供する。また、母親同士の交流などを通して、仲間づくりと子育てなどの不安を解消する機会を提供する。さらに、父親も参加できる学級を実施する。	健康推進課
離乳食教室・幼児食教室	離乳や幼児食に関する知識を身につけ、子どもの健全な発育について学習する。	健康推進課
子育て講座	子ども家庭支援センター「たち」において、出産・育児の不安解消や親同士の交流のための子育て講座を実施する。	子育て支援課
子育てひろば「ポップコーン」	文化センターや学童クラブ施設などにおいて地域毎のひろば事業を実施し、親子の交流と仲間づくりを支援する。	保育支援課
各種スポーツ教室及び指導者付公開事業	各体育館で、高齢者、女性、ジュニアを対象に、各種スポーツ教室を実施する。今後、高度化、多様化する市民のニーズに見合う指導者の発掘と教室を実施する。	スポーツ振興課
宅配サービス	高齢者や障害者など、来館が困難な市民に対して図書館資料をご自宅に届ける。	図書館
障害者福祉啓発事業	障害に対する理解を深め、障害者に対する社会的偏見などを解決するための講座を開催する。障害者自身の参加により、市民とのふれあい、おもいやり、理解などを深めるため、W a i W a i フェスティバルを実施する。また聴覚障害者などに対し、市政への要望、申請についての相談を実施する。	障害者福祉課

施策2 気軽に参加できる学習環境づくり

市民アンケートに寄せられた声として、7.7%の方が、「新しい住民や新しい参加者」が参加しやすい生涯学習として欲しいという声を上げています。また、現在生涯学習をしていない理由として、「忙しい」という回答が45.3%に上がっています。自由回答記述などをみると、「忙しい」という回答の中には、忙しいため定期的に時間が取れない、予約をしても行けるかどうかかわからないといった方も含まれており、全く時間が取れないというより、予め計画的に時間を空けられないために生涯学習事業の参加に踏み切れない方がかなりいることが想定されます。そういった状況に対する対応を進めていくことで、生涯学習の参加率をあげていくこともできると考えられます。

上記の状況を踏まえ、現在、生涯学習に参加できていない層や新たに住民になった層を巻き込んでいくため、幅広い市民が興味をもつテーマの活動およびその広報の充実や、時間がある時に気軽に参加できる講座などを行っていきます。

主要な事業

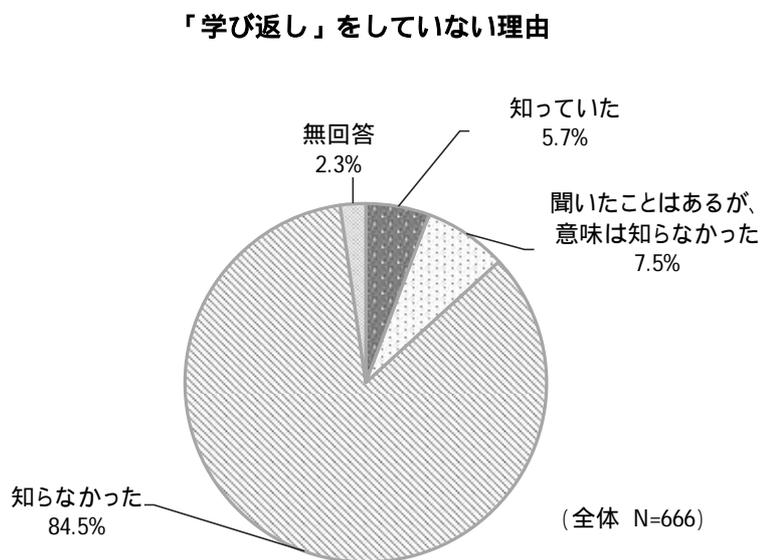
事業名	事業内容	担当
生涯学習センタースポーツ施設	体育室：卓球、バドミントン、バスケットボール、ニュースポーツなど利用日を決めて実施する。 トレーニング室：各自の健康状態に合わせ、フィットネストレーニングを実施する。 温水プール：水泳技術と健康増進運動を図るため、障害者専用コース、ワンポイントレッスンなどを実施する。	文化生涯学習課
第九演奏会	市民参加による手づくりの第九の演奏会を、文化振興財団との共催事業として隔年実施する。	文化生涯学習課
桜まつり	市の桜の名所である桜通りを開放し、市民が自然に親しみ・愛し、誰もが楽しめる心のふれあう桜まつりを実施する。	地域コミュニティ課 中央文化センター
地域まつり	11の文化センターのコミュニティ協議会が中心となって、地域のふれあいと親睦を深め、活力のあるまちづくりを実施する。	地域コミュニティ課 各文化センター
美術館の運営	優れた美術作品の収集・展示など、美術鑑賞の機会を充実するとともに、市民の創作活動を促進し、学習意欲や才能及び美意識を育む教育普及事業などを実施する。	美術館
みんなのスポーツ day	体育の日に、広く市民にスポーツに親しんでもらい、健康とスポーツについての理解と関心を深め、スポーツ活動に対するきっかけづくりを図る。	スポーツ振興課
図書貸し出し	図書の貸し出しを市民、在勤、在学者に実施し、今後、電子出版物の対応を図る。	図書館
インターネットによる蔵書検索	蔵書の充実につとめるとともに、パソコンによる蔵書検索を行い情報の充実を得る。	図書館
蓮を観る会	蓮の観察を通して、大賀蓮を初めとする蓮の保存と認識を深める。	環境政策課
一般健康教室	生活習慣病、健康増進、健康に関する正しい知識の普及を目的に、講話、相談、試食、試飲などを実施する。	健康推進課

事業名	事業内容	担当
自然観察会	市内の植物、野鳥、昆虫などを自然観察指導員の協力を得て、多摩川や浅間山などを歩きながら観察する。府中市に残る貴重な自然を知ることにより、自然保護の啓発を行う。	ふるさと文化財課(郷土の森博物館)
リサイクルフェスタ	フリーマーケットを主としたリサイクルフェスタを開催し、ごみ減量・3Rの推進を図る。	ごみ減量推進課
地域体育館自主事業	地域住民に広く体育館の利用を促すため、各種事業を企画し実施する。	スポーツ振興課
レクリエーション事業	競技スポーツに縁遠い人でもスポーツを楽しめるように、ニュースポーツを中心とした各種レクリエーション大会を実施する。	スポーツ振興課
消費生活相談	市民の消費生活上に起きたトラブル、訪問販売(悪質商法)などの苦情を解決するため実施する。	経済観光課
農業まつり	市内の農業のPRと生産技術の向上を目的に、農産物の即売・品評会などを実施する。	経済観光課
交通安全コンクール	交通事故で尊い命が失われる交通情勢の中で、市立小中学校及び一般市民から交通事故防止をテーマとした作品を募集することにより、交通安全意識の普及啓発を図る。	地域安全対策課
郷土の森博物館展示会事業	ゴールデンウィーク、夏休み、梅まつりなどの時期に、メインの特別企画展示会の内容を毎年変えて実施し、日頃、見ることのできない展示物にふれることにより、学習の幅を広げる。	ふるさと文化財課(郷土の森博物館)
ふるさと府中歴史館管理運営事業	武蔵国府に関する情報発信などをする施設として、歴史的文書資料、郷土資料の収集及び保存を行い、市民の利用に供する。	ふるさと文化財課
レファレンスサービスの充実	図書館資料、データベースなどを使用して、市民からのさまざまな相談、質問に対応し、市民生活に必要な図書館の実現を図る。	図書館
国際交流サロン運営事業	市民と在住外国人との交流の場の提供や、日本語勉強会を開催し、世界のさまざまな国の人たちが集まって自由に談話をしたり情報を交換できるよう実施する。ボランティアの確保と、気軽に立ち寄れるよう開かれた交流の場を目指す。	協働推進課

(1) 現状と課題

「学び返し」は、平成 17 年 3 月に府中市生涯あれ学習審議会で提言された府中市独自の生涯学習の考え方であり、その後も第 2 次府中市生涯学習推進計画、第 6 次府中市総合計画に継承されてきました。しかし、市民アンケートの結果をみると、「学び返し」についての認知度は低く（「知っていた」5.7%、「聞いたことがあるが意味は知らなかった」7.5%）、市民に「学び返し」の考え方が普及しているとは言えない状況にあります。

この背景としては、これまでの市の生涯学習事業において、「学び返し」の理念の普及に重点をおいた事業が行われてこなかったこと、それに伴い、生涯学習関連の事業が「学び返し」の理念の下に統一されたものとなっておらず、市の生涯学習事業の現場でも、「学び返し」という考え方や言葉が意識的に使われることが少なかったということが指摘されます。これを踏まえ、市として「学び返し」の理念の普及を積極的に実施していくことを通じて、市民における「学び返し」の理解を広め、地域への貢献も含めた市民の「学び返し」活動の活性化を図っていきます。



平成 29 年度「府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査」より

(2) めざす姿

市民全体に、「学び返し」への理解が進み、多くの市民が生涯学習活動の実施において「学び返し」を意識するようになっている

「学び返し」の理念の下、府中市で生涯学習活動を経験した人の多くが、そこで身につけた力を、地域へ生かしている

(3) 施策目標

「学び返し」の理念の普及を進め、また地域に貢献する活躍の場を市民に提供することを通じて「学び返し」の実践を進めることで、「学び返し」の認知度を30%以上にまで高めていくことを目標とします。

また、生涯学習活動内での「学び返し」活動の一つである生涯学習サポーターへの登録者100人以上を目指します。

指標名 (単位)	指標の説明	基準値	現状値	2026年度 目標値
「学び返し」認知度	市民による「学び返し」の認知度です。上昇を目指します。	-	5.7% (2017年度)	30%以上

平成29年度「府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査」より(2026年度目標値を除く)

指標名 (単位)	指標の説明	基準値	現状値	2026年度 目標値
生涯学習サポーター登録者数 (人)	市民自らが講師となり市民に教えるサポーター活動をしている人数です。増加を目指します。	80人 (2011年度)	75人 (2017年度)	100人以上

「府中市生涯学習サポーター登録者一覧」より

(4) 施策の方向性

重点施策 「学び返し」育成・普及事業の実施

「学び返し」の理念を市民に普及させるとともに、実際の「学び返し」の活動を市内で大きく広げていくため、学習だけではなく、「返す」活動のあり方やそのためのノウハウなども含めて伝えていく事業を実施します。また、この際には、市内外の各種団体などとの連携についても積極的に検討します。

「学び返し」を広く普及させていくためには、市民の多くが「学び返し」という言葉に触れ、また、一部体験ができるような目玉事業を、市全体で実施していくことが有効と考えられます。市内の団体などとの連携を含め、目玉となりうる事業を検討します。

事業の取組

取組1 「学ぶ」と「返す」をセットとした事業

- 市内外の公的施設や多様なイベントでの「返す」活動とセットとなった生涯学習事業
- 生涯学習活動を行っている方の「返す」活動を推進する制度づくり（ファシリテーター、サポーター、自主グループの活用 等）

取組2 市民に「学び返し」を普及する契機となる事業

- 生涯学習フェスティバルなどの全市的イベントでの連携や生涯学習系イベントでの「学び返し」ネーミングの利用
- 市内団体と連携した事業の実施

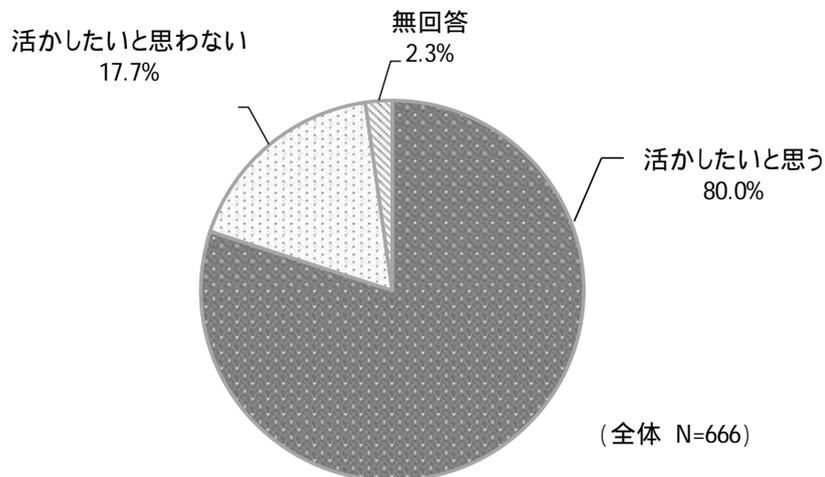
施策1 「学び返し」を实践する人材の育成や登用

「学び返し」は、先に述べたように、市民の知名度自体は低い水準に止まっています。一方、市民アンケートでは「生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験」を自分以外のために活かしたいという回答の比率が80.0%と非常に高くなっており、具体的な機会があれば、多くの市民が「学び返し」活動に参加する可能性は非常に高いものになると考えられます。

「学び返し」の普及については、第2次府中市生涯学習推進計画より、従前のリーダーバンクを発展させた生涯学習サポーター登録制度を開始するとともに、生涯学習ファシリテーターの育成を実施しています。こうした人材の育成を今後とも継続するとともに、より間口を広げ、多くの人が「学び返し」を始められるよう、「他の人の生涯学習活動を支援するためのノウハウやスキル(教え方など)」、「地域に貢献していく活動を行っていくためのノウハウやスキル」など、学ぶだけでなく、「返す」ことも併せて身につけられる講座などを企画していきます。

また、この際には、生涯学習センターの事業だけでなく、市民活動センター「プラッツ」や女性センターなどの地域貢献に関わる施設・機関との連携や、市内のNPO等の市民団体などとの協働を推し進めていくこととします。

「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために活かしたいか



平成29年度「府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査」より

主要な事業

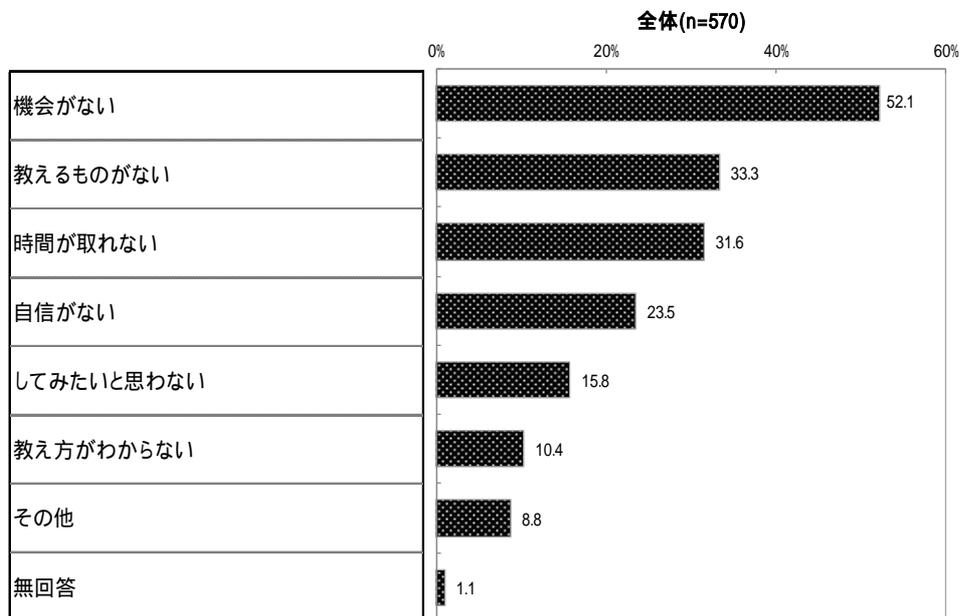
事業名	事業内容	担当
地域の生涯学習の担い手（生涯学習ファシリテーター）の養成	地域における生涯学習活動の事業企画・運営、また、情報提供や相談に応じるなど、市民の学習活動に対し、直接的あるいは間接的に支援を行う地域の担い手（ファシリテーター）を養成する。	文化生涯学習課
生涯学習ボランティアの養成講座	「学び返し」、「地域の担い手（ファシリテーター）」養成の一環として、ボランティア養成講座を開催する。	文化生涯学習課
市民企画講座	「学び返し」を推進するため、講座の企画を提案・実施する市民、または市民の団体を募集し、生涯学習センターで開催する。	文化生涯学習課
府中囃子伝承普及活動	市の伝統芸能の府中囃子を永く後世に残すため、備品の貸与や援助などの支援をする。	文化生涯学習課
武蔵国府太鼓市民講習会	市の新しい郷土芸能の武蔵国府太鼓普及のため、市民講習会を実施する。	文化生涯学習課
人材育成講座	女性の社会参加を促進するために、市政参画講座、再就職講座などを実施し、人材の育成を図る。	地域コミュニティ課
ジュニアリーダー講習会	小学4年生から高校生までを対象に野外活動を通して、地域のリーダー養成を図るため、キャンプ訓練や宿泊講習会などを実施する。	児童青少年課
市民スポーツリーダーの活用	登録されている市民スポーツリーダーの活動の場を確保し、市民のスポーツ活動を支援する。	スポーツ振興課
市民スポーツリーダー育成	これまであまりスポーツになじみのなかった市民に、スポーツの楽しさを伝え、継続的な活動ができるように指導できる人材（スポーツリーダー）を育成する。	スポーツ振興課
お話ボランティア養成講座	図書館や地域で絵本の読み聞かせを行うボランティアの資質向上を図る。	図書館
美術館ボランティアの育成	NPOと美術館との協働により、研修会や教育普及事業など様々な事業活動の機会を提供し、美術館ボランティアを育成する。	美術館
ボランティア養成講座・研修会	社会福祉協議会のボランティアセンターにおいて、ボランティア入門講座、小中学校ボランティア体験学習、親子ボランティア講座、リーダー研修会を開催し、ボランティアの資質の向上を図る。	地域福祉推進課
点字講習会	点字に関する知識の普及と点訳奉仕者を養成することを目的に実施する。	障害者福祉課
手話講習会	聴覚障害者福祉の向上のために、初級、中級、上級コースを設け、手話の技術の向上とボランティアの精神を養うとともに将来の手話通訳者を養成するよう実施する。	障害者福祉課
栄養改善推進員教育事業	市民を対象に、栄養改善や健康づくりに興味を持ち、自ら推進員となってボランティア活動を実践する人を育成する。	健康推進課
子育てひろば事業	地域の子育て家庭に対して子育てに関する相談・助言などの援助を行い子育て不安を解消するとともに、子育ての啓発活動をすすめて、子育てのサークルやボランティアの育成を実施する。	子育て支援課

施策2 市民が活躍する場の拡大

「学び返し」の活動が広まっていくためには、そのための学習の機会だけではなく、学習活動で身につけたものを発揮できる活躍の場も、併せて、拡大していくことが求められます。例えば、2016年度に68人まで登録が拡大した生涯学習サポーター登録制度ですが、登録はしたものの、実際に活躍する場が少ないという声が上がっています。また、生涯学習ファシリテーターについても、質の高い人材教育は行われてきたものの、その後の実践の場までは用意されていません。市民アンケートでも、「学び返し」をしたことがない理由として、「機会がない」という回答が52.1%と、「教えるものがない」という回答の33.3%を大きく上回っています。

こうしたことを踏まえ、生涯学習活動を行ってきた市民が、そこで身につけた能力を発揮できる活躍の場の拡大を積極的に図っていくこととします。このためには、生涯学習センターなどの生涯学習系施設だけでなく、他の分野の公的施設や機関との連携、市内団体など、実際に地域貢献活動を行っている団体や場との連携が極めて重要となります。加えて、市内の市民協働活動の活性化を担っている市民活動センター「プラッツ」との密接な連携も必要です。施策の実施にあたっては、こうした連携や協働を大きく進めていくこととします。

「学び返し」をしたことがない理由



平成 29 年度「府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査」より

主要な事業

事業名	事業内容	担当
生涯学習サポーター	生涯学習サポート事業の一環として、資格や技能を持つ市民を生涯学習サポーターとして再登録し、希望する市民とのマッチングを行う。学習グループや研修会の講師として紹介し、「学び返し」の一環として、市民のソフトパワーの活用を図る。	文化生涯学習課
生涯学習ボランティアの活用事業	講座の企画運営、講師など生涯学習ボランティアとして活用する。	文化生涯学習課
生涯学習フェスティバル	市民の生涯学習に対する理解を深め、生涯学習活動全体の推進を図る。今後、自主的な活動を推進するため、市民による実行委員会での開催を図る。	文化生涯学習課
市民企画講座	「学び返し」を推進するため、講座の企画を提案・実施する市民、または市民の団体を募集し、生涯学習センターで開催する。	文化生涯学習課
コミュニケーション支援事業	手話講習会で学んだ技術を手話通訳者として生かすとともに障害者の社会参加の機会を支援する。	障害者福祉課
栄養改善推進員の活用	栄養改善推進員として、修得した知識を市民の健康づくり推進のために活用を図る。	健康推進課
NPO・ボランティア団体の活動支援	NPO・ボランティア活動センターに登録されている団体の活動機会の提供に努めるとともに、地域との交流を図る。	協働推進課
図書館ボランティア	図書館の行う児童・ハンディキャップの各サービスで、ボランティアの活用を図る。	図書館
美術館ボランティアコーナーの活用	ボランティアの交流の場を設け、NPOとの協働により、美術館ボランティアが活動しやすい環境づくりを推進する。	美術館
ボランティアセンターの活動	社会福祉協議会のボランティアセンターをより充実し、登録されているボランティアの活動の場を広げていく。	地域福祉推進課
学校支援ボランティア	世代を超えたふれあい活動の実施、地域の伝統的な文化や技能の伝承、校庭の整備・花壇の世話など、学校の環境整備への協力など、地域社会が学校に対して支援していくボランティア活動を広げていく。	指導室
高齢者の社会参加	高齢者が趣味、技術を生かし、地域社会に生かせるよう活用場の提供を図る。	高齢者支援課
市民スポーツ教室	体育指導委員が中心となり、スポーツ人口拡大を目的に市民一般を対象としたスポーツ指導を実施する。	スポーツ振興課
自主防災組織の充実	地域防災の拠点である自治会を主な母体として、自主的、自発的に防災思想をはぐくみ、防災行動力の向上を図るため、活動や装備の面で支援する。	防災危機管理課
府中市男女共同参画推進フォーラム	市民で組織される実行委員会により、女性問題をテーマにした手づくりのフォーラムを開催し、事業の企画・運営を学ぶ場、幅広い女性問題を学び、考える場を提供する。	地域コミュニティ課
学習ボランティアの活用事業	郷土の森博物館及び美術館の解説や案内、また講座の企画運営、講師などボランティアとして活用していく。	ふるさと文化財課 (郷土の森博物館) / 美術館

(1) 現状と課題

基本施策1「誰もが学べる環境づくり」、基本施策2「誰もが活躍できる環境づくり」を円滑に進めていくためには、生涯学習事業を支える基盤を着実に維持し、向上させていくことが求められます。

府中市は、近隣市の中でも、生涯学習に関わる施設整備が進んだ地域となっており、これが府中市の活発な生涯学習活動を支えてきました。しかし、先行して施設整備が進んだ結果、次第に老朽化対応などが必要となってきました。今後は、第2次府中市公共マネジメント推進プランを踏まえつつ、対応方針を定めていく必要があります。

一方、運用面では、大きく3つの課題が指摘されています。ひとつ目は、生涯学習の広報の課題です。既に紹介した市民アンケートの結果でも、生涯学習事業の広報をもっと強化してほしいという声が非常に多くなっており、ここへの対応が必要です。特に、新たな住民や、若年層、就労者などでは、市の情報がなかなか入ってこないという意見が多く、市内でも情報格差が発生している状況が見られます。

現在、各事業の広報は、施設それぞれのチラシやホームページなどによるものが中心となっており、全体的な広報は、「広報ふちゅう」での一部掲載や、市のホームページでの開催情報の一覧告知に限定されています。今後は、市の生涯学習活動全体の魅力を効果的に伝え、市民一人ひとりを生涯学習活動に巻き込んでいく積極的な広報の実施が求められます。

2つ目は、生涯学習関連の各施設・事業間の連携が希薄であることです。現状では、それぞれの施設毎に他施設や団体などとの連携や協働を進めることが基本となっており、全体としての連携・協働を図る状況とはなっていません。今後、市民・地域との協働や連携をこれまで以上に拡大し、生涯学習の活性化を図っていくためには、関連施設・関連事業の連携を効果的に強化していくことが求められます。

最後に、高齢者の方や乳幼児連れの方など、施設利用や生涯学習活動への参加にハードルのある方への対応という問題があります。市民誰もが生涯学習活動を楽しんで頂くためには、施設の利用しやすい環境づくり、あるいは対応したサービスの拡充など、種々の対応を検討していく必要があります。

(2) めざす姿

市民誰もが、安心して利用できる生涯学習活動の実施環境が整っている
生涯学習の魅力を伝える広報が効果的に実施され、市民の多くが生涯学習活動に関心を持ち、また参加に必要な情報を取得できている

(3) 施策目標

生涯学習を支える施設やその運営の代表例として、市の生涯学習の中核施設である生涯学習センターの利用者満足度を90.0%以上に維持することを目標とします。また、より多くの市民が必要な時に、必要な情報を取得できるよう広報を充実させ、市の生涯学習に関する情報を取得できている市民の割合を90.0%以上にすることを目標とします。

指標名 (単位)	指標の説明	基準値	現状値	2026年度 目標値
生涯学習センターの利用者満足度 (%)	生涯学習活動の拠点である府中市生涯学習センターの利用者の満足度です。90.0%以上の維持を目指します。	-	91.0% (2017年度)	90.0%以上

「府中市生涯学習センター - 利用者アンケート」より

指標名 (単位)	指標の説明	基準値	現状値	2026年度 目標値
市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得できている市民の割合 (%)	市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得している市民の割合です。90.0%以上を目指します。	-	79.1% (2017年度)	90.0%以上

平成29年度「府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査」より

(4) 施策の方向性

重点施策 紙とデジタル双方での広報の強化

先にも述べたように、市の生涯学習施策について最も意見が多かったのは「広報」についてです。これを踏まえ、生涯学習の基盤を支える分野での重点事業としては、広報の強化を検討します。

広報にあたって、市民アンケート等では、ホームページやSNSなどのデジタルでの広報の強化とともに、紙や街を利用したアナログでの広報の拡大を求める声が大きく上がって来ています。これを踏まえて、ポスターやチラシなどの紙とデジタル双方での広報の強化を目指します。

事業の取組

取組1 アナログ媒体を使った広報の事業

- 駅周辺施設、商業施設でのチラシやポスターなどの配布

取組2 デジタル媒体を使った広報の事業

- ホームページでの「学び返し」実践者のコラムの紹介
- ローカルテレビ等との連携活動

施策1 施設と事業との連携

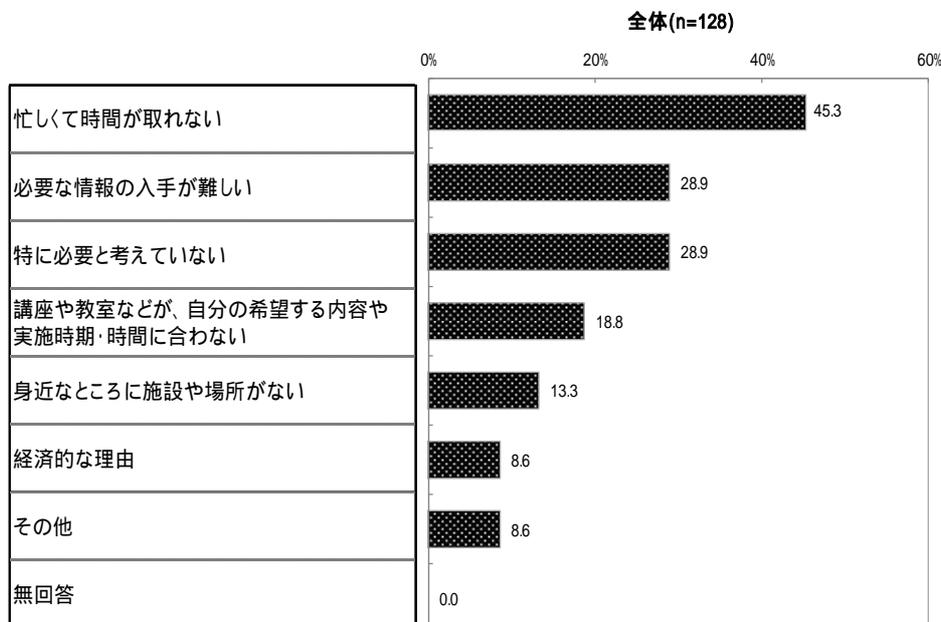
先に述べたように、現状、生涯学習事業の広報は、それぞれの施設や事業で行っているものが主体となっており、市民が多種多様に行われている各活動を、どのような内容でどんな面白さがあるかも含めて調べ、選択できるようにはなっていません。市民アンケートの結果をみると、「生涯学習をしていない理由」として、「必要な情報の入手が難しい」という回答が28.9%と多く、市の生涯学習の普及において、こうした全体広報の不足が大きな問題となっている可能性が高いと考えられます。

また、「講座や教室などが、自分の希望する内容や実施時期・時間に合わない」(16.8%)、「身近なところに施設や場所がない」(13.3%)という回答も、「生涯学習をしていない理由」としては多くなっていますが、こうした課題については、各生涯学習施設間、あるいは市の生涯学習系施設と、市民団体などとの連携を図り、講座内容の調整を図ることによって、大きく解決していく可能性が高いと考えられます。

同様の傾向は、また、「生涯学習を行う施設等を利用する上での問題点」についての回答でもみられ、「利用に関する情報が少ない」が21.7%とトップとなっている他、「施設の場所が利用しづらい」、「興味がある講座や施設がない」といった回答が多くなっています。

これを踏まえ、生涯学習全体の広報や、地域全体での学習事業についての連携・協働の拡大など、生涯学習事業全体を横串で支えていく施策を展開していきます。

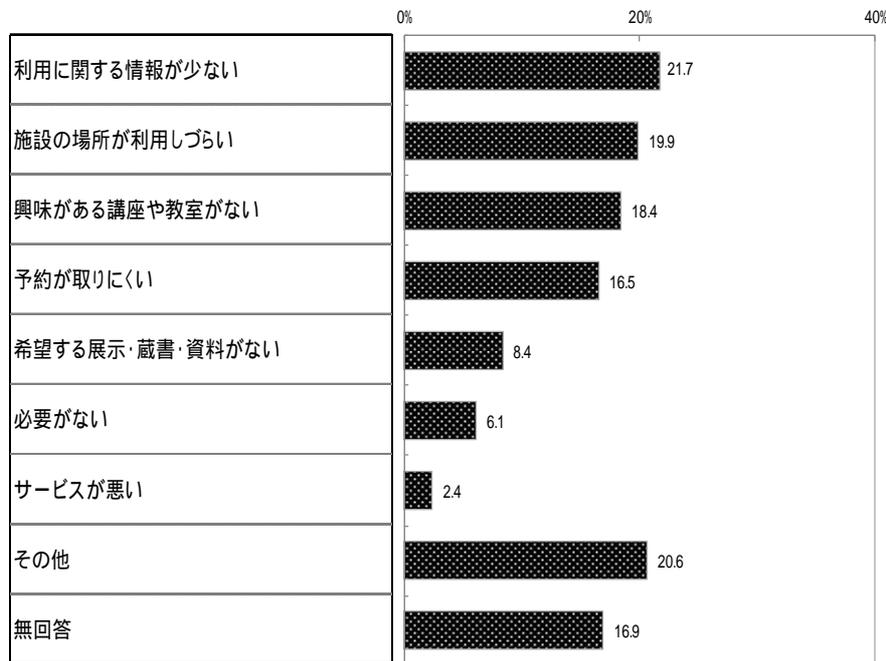
「生涯学習」をしていない理由



平成29年度「府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査」より

生涯学習を行う施設等を利用する上での問題点

全体(n=538)



平成 29 年度「府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査」より

主要な事業

事業名	事業内容	担当
インターネットホームページ情報提供	市のホームページに積極的に生涯学習情報の掲載を行い、市民が家庭においても必要な情報を入手できるようサービスの向上を図る。	文化生涯学習課
生涯学習情報誌の発行	生涯学習ボランティアの編集で、市が行う学習事業の情報提供と、市民の学習活動を取り上げ「生涯学習だより」を発行する。	文化生涯学習課
民間教育機関との連携事業	多様化する市民の学習需要に応えるため、学習に関する情報交換などで連携を図り、多様かつ良質な学習機会の展開を進める。	文化生涯学習課
大学との連携	東京農工大学、東京外国語大学、明治大学と連携し、教養セミナーなどを実施して、学習機会の場を提供する。	文化生涯学習課 / ふるさと文化財課（郷土の森博物館）
学校施設の開放	学校の施設を児童、生徒が使用しないときに地域の学習グループに開放し、活動の場を確保して、学習活動を支援する。陶芸窯、オープンスペース、ランチルーム、音楽室、会議室をより効果的に利用できるようにする。	文化生涯学習課 / スポーツ振興課
図書館による学級訪問の実施	図書館と学校は、協力して、学校でブックトークなどを開催して、子どもたちの読書意欲や学習の意識の啓発につとめる。	図書館

事業名	事業内容	担当
広報媒体を活用した生涯学習のPR	各主管課の依頼に基づいて生涯学習関連事業を「広報ふちゅう」などを通じて、市民に知らせる。	広報課
外国語版情報誌の発行	在住外国人向けに催し案内や生活上の情報を盛り込んだ冊子（英文併記）を発行する。	協働推進課
図書館蔵書情報の提供	市内の各図書館に設置された開放端末機を利用して、市内の図書館に所蔵する図書などのデータを利用者が自ら検索して、学習活動に活用できるよう提供する。	図書館

施策2 生涯学習の推進機能の充実

市内の生涯学習事業全体を通じた施策調整や広報などを積極的に展開していくに当たっては、庁内関連部署の連携を実施するとともに、NPO団体などの市民活動との連携、地域貢献活動に関心を持つ市内団体との調整・連携を推進していく必要があります。これを実現するため、庁内・庁外の連携を、PDCAサイクルを踏まえ、逐次改善していきます。

こうした調整・連携については、第2次府中市生涯学習推進計画以降育成してきた生涯学習ファシリテーターの活用も検討されます。

主要な事業

事業名	事業内容	担当
生涯学習サポート事業の新設	生涯学習に関するさまざまな情報の提供、相談、紹介、支援・調整に関する体制を整備する。	文化生涯学習課
各主管課における事業推進計画の調整	生涯学習に関連する事業について、各計画間での整合性を図りながら、生涯学習を計画的に実現する。	文化生涯学習課
市内生涯学習施設間交流会議	市内の生涯学習関連施設との連絡を図り、企画予定や相互協力そして市民ニーズの動向など情報交換をする。	文化生涯学習課
生涯学習センターの機能充実	学習情報の提供（市民の生涯学習のための情報収集、提供、学習相談）、学習事業の実施（学習機会提供、指導者育成、設備提供、団体育成、成果発表）、総合企画・調整（市の生涯学習施策全体の総合調整）を実施する。	文化生涯学習課

施策3 安心・安全に利用できる施設的环境づくり

先に述べたように、市民アンケートでは、高齢者や乳幼児連れの方などから利用しやすい環境づくりを求める声がありました。また、生涯学習センターも老朽化対策を考える時期が迫りつつあります。

こうした状況および第2次府中市公共施設マネジメント推進プランを踏まえ、安心・安全に利用できる施設的环境づくりを、サービス面の改善も含め、積極的に行っていきます。

主要な事業

事業名	事業内容	担当
生涯学習センターの開放	学習を目的に託児を必要とする団体（サークル）に託児室を無料で提供する。	文化生涯学習課
社会教育関係団体支援	活動の場として公民館の提供、託児室の援助をするなど、社会教育関係団体の活動を支援する。	文化生涯学習課 / スポーツ振興課
指定管理者制度の導入	生涯学習センターやスポーツ施設について、指定管理者制度を導入し、民間の手法を取り入れることで、施設の管理の効率化及び更なる事業の普及・促進を目指す。	文化生涯学習課 / スポーツ振興課
Y Aルームの活用	中央図書館に設置した中高生向けのY Aルームで、自主的な活動を推進する。	図書館
児童館の整備	乳幼児をかかえた保護者が利用しやすいように、キッズスペースを設置し、一層の活用を図る。	地域コミュニティ課
夜間照明施設の整備	小・中学校の校庭に夜間照明施設を設置し、スポーツ活動を充実する。	スポーツ振興課
放課後子ども教室	子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、放課後などに小学校施設を活用した、遊びの場・学びの場を提供する。	児童青少年課